

平成 29 年 2 月 22 日

## 平成 29 年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

市町村名	豊田市
部署名	都市整備部 交通政策課
担当者役職・氏名	主査 山田 直宏
連絡先 電話番号	0 5 6 5 - 3 4 - 6 6 0 3
F A X 番号	0 5 6 5 - 3 3 - 2 4 3 3
メールアドレス	koutsu@city.toyota.aichi.jp

## ○ 本事業への応募理由

テーマ：中山間地域における高齢者の移動

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

## ① 高齢者対策

- 中山間地域では高齢化が進んでいるが、本市は団塊の世代が多いため、今後、超高齢社会が加速度的に進むと想定している。

【高齢化率（H29.2.1 現在）】市全域：22%、下山地域：29%、稲武地域：44%

- 現在、中山間地域では、地域バス（デマンドバスや定時路線）を運行しているが、今後の乗務員不足や人口減少に伴う利用者の減少などにより、バスの運行が困難になると考えている。

## ② 観光振興対策

- 本市は、主に中山間地域に観光拠点が存在しており、年間 1,000 万人を超える観光客を受け入れている。中心市街地から各観光拠点（道の駅など）への公共交通手段としては、基幹交通（おいでんバス）を整備しているが、観光拠点から拠点周辺の観光スポットへの交通手段が確立されていない。

- 今後、2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピック/パラリンピックも控えており、外国人観光客が増加することも予想されるため、観光拠点を中心としたクルマの街ならではの魅力的で楽しい交通手段を充実させる必要がある。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

- 豊田市は、交通まちづくりに関する計画「豊田市交通まちづくりビジョン 2040・行動計画（2016-2020）」を策定し、『人々の暮らしやすさ』や『まちの魅力・活気・交流』を高め、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指している。

- 計画内の安全・安心に関する事業として、「自動運転技術等を活用した運転支援システムの普及促進」を位置付けており、事業を推進するために、民産学と連携した推進体制を構築している。

- また、自動走行システムに関連する事業は、安全・安心（高齢者の交通事故削減）だけでなく、交流（高齢者の外出機会の創出/健康寿命の延伸）や移動円滑化（新たな交通）の事業としても、検討している。

- 具体的には、地域バスやシェアリングモビリティの自動走行（自動配回送を含む）、自動走行を活用した観光促進へ繋げていきたいと考えている。

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細（下山地域・稲武地域）

【下山地域①】

1 ルート（起点→終点）

花沢集会場 ⇒ Aコープ下山支店

2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

- ・おいでんバス：下山・豊田線
- ・名鉄バス：大沼線
- ・デマンドバス：しもやまバス（平日毎日運行、午前6時～午後8時、下山全域）

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約2.2キロ
車線数	片側1車線
道路構造	歩車分離
道路種別	国道301号
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	交通量が少し多く、速度が速い車がいる。
交差点	三差路1か所
起点・終点	起点：花沢五区コミュニティセンター 終点：Aコープ下山店 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	・平成28年度実施ルート ・起点は、デイリーヤマザキでも可

## 5 写真

### (1) 道路の様子 (主要地点数力所)

#### ①三差路



#### ②



#### ③Aコープ下山店出入口



### (2) 起点、終点場所 (駅、公共施設等)

#### 起点 (花沢五区コミュニティセンター)

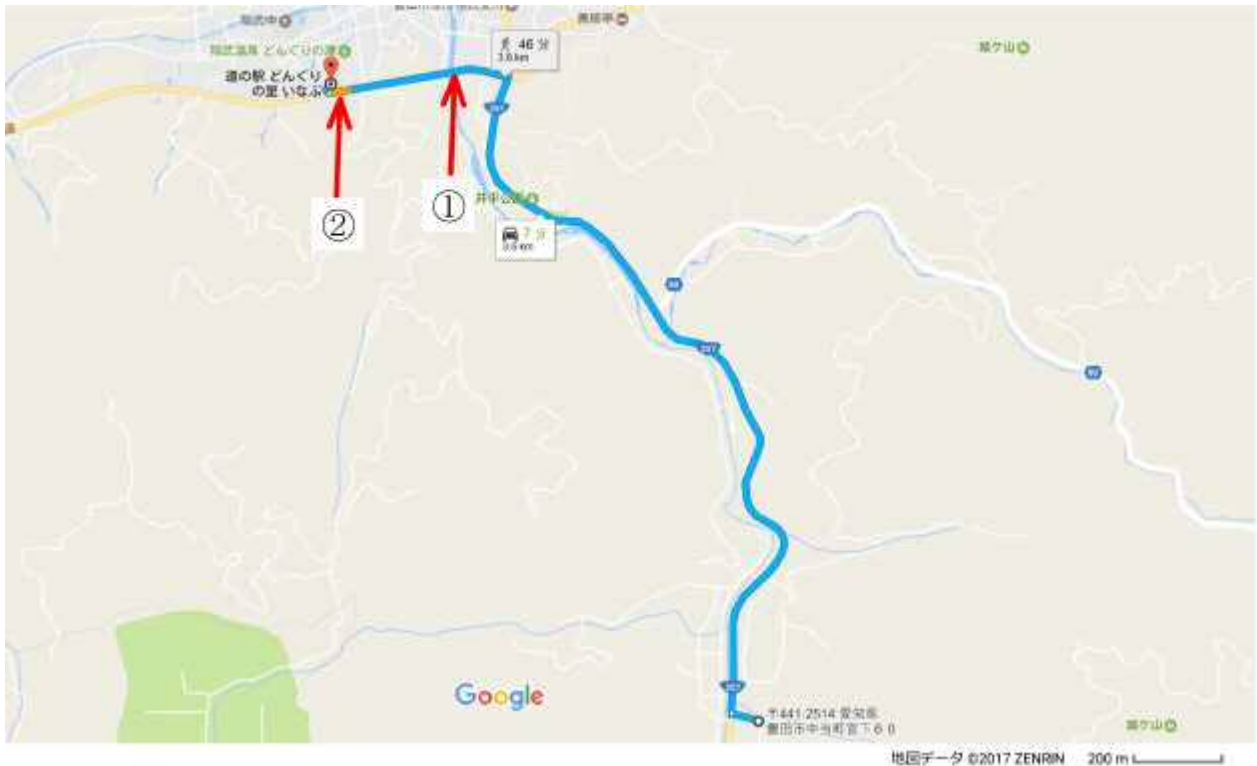


#### 終点 (Aコープ下山店)



【稲武地域①】

- 1 ルート（起点→終点）  
中当町集会場 → どんぐりの里いなぶ
- 2 ルート（地図）



- 3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）
  - ・ 設楽町営バス（稲武線）
  - ・ デマンドバス：どんぐりバス（月・水・金、午前8時～午後5時、稲武全域）
- 4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約3.5キロ
車線数	片側1車線
道路構造	歩道無（一部区域で歩道有）、人の往来はほとんど無し
道路種別	国道257号
トンネル、踏切	トンネルあり（100m程度）
交通量	全体的に少なく、普段渋滞は発生しない
交差点	右左折する四差路1か所
起点・終点	起点：中当町集会場 終点：どんぐりの里いなぶ 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	・ 中当町集会場は、細い道を国道から少し入ったところにある。 ・ トンネルを通らずに、商店街側からも道の駅に行くことが可能だが、片側1車線ない。



## 5 写真

### (1) 道路の様子 (主要地点数力所)

#### ①トンネル前



#### ②どんぐりの里いなぶ 出入口



### (2) 起点、終点場所

#### 起点 (中当町集会場)



#### 終点 (どんぐりの里いなぶ)



【稲武地区②】

- 1 ルート（起点→終点）  
水分広場 → どんぐりの里いなぶ
- 2 ルート（地図）



- 3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）
  - ・おいでんバス：稲武・足助線／快速いなぶ
  - ・デマンドバス：どんぐりバス（月・水・金、午前8時～午後5時、稲武全域）
- 4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約4.5キロ
車線数	片側1車線
道路構造	国道153号：歩車分離 市道：歩道無し
道路種別	国道153号・一部市道あり
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	交通量は少し多め、時速70km程度出す車もいる。
交差点	三差路1か所
起点・終点	起点：水分広場 終点：どんぐりの里いなぶ 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	・夏～秋に掛けて、交通量が増加 ・ルート内に横断歩道が数か所ある

## 5 写真

### (1) 道路の様子 (主要地点数力所)

#### ①水別広場出入口



#### ②横断歩道



#### ③三差路



### (2) 起点、終点場所

#### 起点 (水分広場)



#### 終点 (どんぐりの里いなぶ)



## 6 高精度3Dマップの有無

下山地域 (花沢五区コミュニティセンター・Aコープ下山店) のみ有、その他無

## 7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組

(実績、平成29年度の予定・予算措置状況等)

- ・名古屋大学との共働事業である「名古屋COI事業」にて、将来的に自動走行を導入できないか検討している。

## 8 その他参考資料

特になし